

平成 30 年 7 月 30 日

(公社) 鹿児島県工業倶楽部
会 長 岩 元 正 孝 様

鹿児島県 P T A 連合会
会 長 太 田 敬 介



鹿児島県連合校長協会
会 長 月 野 功



平成 31 年 3 月高等学校等卒業予定者に対する雇用確保について (お願い)

平素より高等学校等卒業予定者の就職につきましてはご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、鹿児島労働局から発表されました平成 30 年 3 月卒業生の就職状況によりますと、県内高校生の就職内定率は 99.5%、県内希望者の就職内定率も 99.1%と、平成以降昨年に次ぐ 2 番目の高水準となり、また、県内就職割合は 54.5%と 7 年連続で県外を上回っております。関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。

最近の新規求人数の動向は、景気が緩やかに回復するもとの幅広い業種で増加しており、来年度の求人についても、県内・県外ともに好調な出足であるとお聞きしております。

しかしながら、増加している求人は製造、建設、宿泊・飲食サービス、医療・福祉などで、高校生が希望する他の職種については依然として低い状況のままです。このため、希望職種と異なる就職先を決定せざるを得ない結果となり、就職先での定着を危惧しているところ です。

高校生は、それぞれの夢や目標の実現に向かって知識・技能の習得に日々励んでいます。すべての高校生が正規の雇用で希望する職種に就き、培ってきた能力を存分に発揮することで、地域の活性化と郷土鹿児島島の発展が図られます。

県 P T A 連合会並びに県連合校長協会においても、高校生活の中で将来の社会生活・職業生活に必要な資質を身に付けることができるよう、望ましい職業観や勤労観の育成基本的な生活習慣や社会性・規範意識の確立に努めるなどに取り組んでいるところです。

つきましては、本県産業を担っておられる会員企業の皆様に対し、産業振興と地域経済の活性化を図るため、障がいのある生徒も含め、郷土鹿児島島の未来を担う前途ある新規卒業予定者が 1 人でも多く採用されますよう、採用枠の維持・拡大や求人の早期化、ミスマッチの解消に努めるとともに、雇用条件の改善などに、ご指導・ご助言をお願い申し上げます。